

## 令和2年度 小平市子ども家庭支援センター事業計画(案)について

### 事業目標：子どもたちの笑顔があふれるまち 小平

1. すべての子どもたちの誕生を祝福し地域の宝として、「共に育てる・共に育つ」を目指す。
2. 子ども一人ひとりの人格と個性を尊重し、子どもたちが夢や希望を持てるよう生活を支援する。
3. 子どもと家族を理解し、大切にされていると感じることのできるかかわりができるよう努める。
4. 子どもや家族が抱える課題を受け止め、より良い解決に向かえるよう専門性にに基づき対応する。
5. 子どもと家庭にかかわる各関係機関と連携を密にし、必要な支援の提供・調整を行い、児童相談対応に努める。

### 方針と展開

#### 1 子育て交流広場活動の充実

- ・地域の親子の良い出会いと交流の場として、利用者同士が互いに支え合い、育ちあえる関係が築ける支援を、また、アンケートの実施等により利用者の具体的な要望を捉えた対応を心がける。
- ・子どもの育ちや安全に配慮し、子どもたちが安心して自由に遊べる環境を提供する。
- ・親が主体的に子育てに関わるのを助け、子どもとの暮らしが楽しめるように支援する。
- ・センター内のひろば活動だけでなく、地域センターなどへの出張ひろばを展開し、子育て家庭の孤立を防ぎ、“みんなで子育て”を楽しめるようにする。
- ・父親の育児参加をすすめ、夫婦で育児の楽しさが分かち合えるよう、誰でもが居心地の良いひろばであるよう活動を工夫する。

#### 2 相談活動の充実

- ・悩みや問題を抱える家族に寄り添い、相談者自身の考えや意思決定を尊重することで、自信をもって育児を楽しめるよう支援する。
- ・子どもの発達や親自身のケアについて、専門相談員による相談を活かし、育児を支援する。
- ・対応に苦慮する相談に関しては、対人援助の経験および知識技術の高い専門家から助言指導を受けることで、問題への理解を深め、具体的な対応や支援の方向性を共有する。
- ・保健師や助産師と連携し、周産期からの支援を積極的に行い、特別な配慮を必要とする保護者への見守り・支援の充実を図る。

### 3 地域との協働

- ・「発達を支援する会」「ここぷらっと」ほか子育て支援に関する普及啓発に努める。
- ・市内中学校の職場体験学習のほか、若者にボランティア活動の場と乳幼児や保護者と触れ合う機会を提供し、温かい交流のある地域づくりを目指す。
- ・小平市地区連絡協議会への参加を通して、民生委員児童委員と相互理解を深め、子育て家族へのより良い支援につなげていく。

### 4 児童虐待防止機能の充実

- ・要保護児童対策地域協議会において関係機関との日常的な連携のもと、子どもの人権を守り、児童虐待防止に努める。
- ・子どもや保護者の心理的側面のケアに努め、支援を通して子どもの生活の改善と自立を助ける。
- ・市民へ向けて「養育家庭体験発表会」への参加や「オレンジリボン」の普及等、児童虐待防止の啓発活動に市担当課と共に取り組む。
- ・特に支援が必要な家庭に、ヘルパーの派遣やショートステイ利用等により家庭環境の改善を図る。
- ・困難を抱えた子ども中心の支援として、こどもサポーターを活かして家族以外の人との交流、楽しい時間の共有ができ、人への信頼と自立への意欲を支援する。

### 5 ティーンズ相談室の充実

- ・子どもが抱える悩みや課題を受け止め、共に担うことで孤立感を軽減し、子どもが本来持っている力を発揮できるような機会を提供する。
- ・不登校あるいは学校等どこにも所属していない子どもが、自分の将来に目を向け、社会的自立へつながるよう支援する。
- ・子ども家庭支援センターのひろばボランティア活動に参加し、地域での居場所や人間関係を広げていく。

## 事業の内容

### 1 子育て交流広場「おひさま」、「はらっぱ」

乳幼児、保護者の安心できる居場所として、お互いの交流の促進を図れるよう配慮する。

- (1) 親子あそび：0歳さんあつまれ・スポットタイム
- (2) 季節の行事等：クリスマス会・絵本の会・畑耕し隊
- (3) 出張ひろば（月2～3回）
- (4) 自主サークル：まもらっこ（障害児を持つ親の会）・おひさまキッズ（3歳児）  
ひなたぼっこ（1,2歳児）
- (5) ママボランティア：りらくすヨガ・エッグアート・ベビーマッサージ・ゴスペル隊

## 2 講座・行事

- (1) ふたごちゃんあつまれ（こだツインの会と協力し、ふたごちゃんならではのお話や情報交換）
- (2) ひろばのおもちゃつくり隊（利用者の特技を活かして活動）
- (3) 子育て講座：「コミュニケーションと言葉の育ち」「2人目の赤ちゃんがやってきた」ほか
- (4) ペアレント・トレーニング講座
- (5) FSプログラム「赤ちゃんを創るわたしの家族」（2～4か月の赤ちゃんとも母親のグループワーク）
- (6) りぼんの会：身長・体重測定、助産師による相談、プレママ相談等
- (7) おいしい絵本の会（絵本をみんなで読んでから実際に作って楽しむ）
- (8) ひとり親のおやこの会（子どもを一人で育てている親御さんとお子さん対象のお楽しみ会）
- (9) ミニ講座（思春期・不登校など）

## 3 相談事業

- (1) 面接相談・電話相談・メール相談・ひろば相談・出張ひろば相談
- (2) 虐待相談窓口
- (3) 専門相談（発達相談、心の育ち、言語、家族問題等）
- (4) 養育支援ヘルパー派遣事業受付相談
- (5) 子どもショートステイ事業受付相談
- (6) ティーンズ相談
- (7) こどもサポーター活動

## 4 児童虐待防止事業

- (1) 虐待通告・児童相談の窓口として、必要に応じて情報収集し、訪問・面接・サービス提供などを適宜に行う。関係機関との協力・連携体制を強化し、個々の問題に適切に対応する。
- (2) 児童相談所及び警察との連携強化を図り、地域での継続的見守り支援を行う。
- (3) 要保護児童、要支援児童に関する台帳を作成し進行管理を行う。
- (4) 要保護児童対策地域協議会において調整機関である子育て支援課と共に各会議の準備・開催など、子ども家庭支援センターとしての役割を果たす。
- (5) 子育て支援課との連携のもと、必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、関係機関との情報共有・支援方針を決定し虐待の重症化を防ぎ、家族の状況改善に向けて支援する。
- (6) 要保護児童庁内連絡会を開催する（子育て支援課・健康推進課・保育課等）
- (7) 子育て世代包括支援センター事業を実施する母子保健担当部署との連携・協力体制を強化し、適切な情報共有や連携した支援を行う。

## 5 ティーンズ相談室事業

おおむね中学生から19歳までの子どもからの相談を受け、自立に向けた支援を行う。

保護者からの育成相談や学校からの不登校相談を受け、状況改善に向けて関係機関との連携や家庭訪問を行う。

- (1) 電話、メール、面談等で相談を受ける。
- (2) 子どもたちが、自主的にパソコン、絵画、ゲーム、手芸、調理、学習等の活動ができるよう機会を提供する。
- (3) 保護者の了解を得て、学校や教育相談室等と連携し、社会的自立に向けて支援する。

## 6 情報提供

- (1) センター便りを毎月発行
- (2) ホームページでの情報発信、メールでの問い合わせ
- (3) 地域子育て情報のチラシ・お便り等の配布、ポスター掲示

## 7 ネットワーク強化

- (1) 要保護児童対策地域協議会における代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議の活用
- (2) 関係機関との連携  
市関係課、児童相談所、児童養護施設、教育相談室、小・中学校、特別支援学校、児童館、学童クラブ、保育園、幼稚園、社会福祉協議会、保健所、民生委員児童委員、療育施設、医療機関、警察署、医師会、歯科医師会、地域センター等、地区連絡協議会、発達を支援する会、特別支援学校運営協議会、特別支援教育連絡会実務者部会、他市区子ども家庭支援センター、東京都市子ども家庭支援センター長連絡会、元気村連絡会等
- (3) ファミリー・サポート・センターとの連携及び講師派遣
- (4) 関係機関との連絡会、学習会、事例検討会等への参加（学校運営協議会、発達を支援する会等）
- (5) 各種研修の開催（養育支援ヘルパー派遣事業研修、地域ボランティア研修）

## 8 地域組織化活動

- (1) 職場体験中学生・高校生等の受入
- (2) ボランティアの育成及び活動の場の提供
- (3) ママサークルの支援、近隣地域との協力

## 9 子育て支援にかかるサービスの提供窓口、連絡調整

- (1) 子どもショートステイ事業
- (2) 養育支援ヘルパー派遣事業
- (3) こどもサポーター活動

## 10 モニタリングの実施

- (1) 利用者アンケートの実施、掲示と改善点の協議

## 職員・研修体制

### 1 本指定管理業務を行う職員体制

別表 令和2年度 小平市子ども家庭支援センター職員体制（案）

### 2 職員能力・資質の向上のための取組み

子育て交流広場、ティーンズ相談室、要保護・要支援相談など職務により、必要な研修を積極的に受講し、職員の専門性の向上を図る。

#### (1) 法人内研修

- ① コミュニケーションスキル研修
- ② 社会問題研修
- ③ 虐待対策ワーカー研修
- ④ パート研修
- ⑤ ひろば研修
- ⑥ 利用者支援研修
- ⑦ 一時預かり保育研修

#### (2) 外部研修

- ① 児童相談センター主催研修
- ② 多摩総合精神保健福祉センター主催研修
- ③ 小児総合医療センター主催研修
- ④ 母子保健研修
- ⑤ 多摩小平保健所主催研修
- ⑥ 子供のころセミナー

別表 令和 2 年度 小平市子ども家庭支援センター職員体制 (案)

No.	職 名	勤務形態
1	センター長	常勤
2	子ども家庭支援ワーカー	常勤
3	子ども家庭支援ワーカー	常勤
4	子ども家庭支援ワーカー兼専門相談員	常勤
5	子ども家庭支援ワーカー兼地域活動ワーカー	常勤
6	子育て交流広場担当	常勤
7	子育て交流広場担当	非常勤
8	子育て交流広場担当	非常勤
9	子育て交流広場担当	非常勤
10	心理専門支援員	常勤
11	心理専門支援員	非常勤
12	心理専門支援員	非常勤
13	虐待対策ワーカー	常勤
14	虐待対策ワーカー	常勤
15	虐待対策ワーカー	常勤
16	虐待対策ワーカー	常勤
17	虐待対策コーディネーター	常勤
18	ティーンズ支援ワーカー	常勤
19	ティーンズ支援ワーカー	常勤
20	スーパーバイザー	非常勤